

伊那養護学校 地域連携支援室



かみとくれん
本会事務局です

伊那養護学校は上伊那圏域にある唯一の特別支援学校（知的）です。伊那養での教育と共に、地域の特別支援教育のセンター校としての役割もあります。その役割を担うため、H23に『総合支援室』を設置し、H29には地域連携の機能も明確にするため『地域連携支援室』と名称変更しました。上伊那の特別な支援を必要とする子ども・保護者そして先生たちのために教育相談や巡回支援、『かみとくれん』と連携しながら特別支援教育にかかわる相談や情報発信、研修会への講師派遣等を行っています。

2020年度 地域連携支援室 スタッフ紹介

◆窓口（教頭）：小松賢吾・神山明彦 連絡先：TEL 0265-72-2895（代表）

地域連携支援室 連絡先：TEL 0265-72-2899（支援室直通）

◇特別支援教育Co：渡辺孝次 ◇専門支援チーム：矢島悟・野原花奈・諸田千幸・市原綾・前田裕子

◇教育相談担当：登内光・塩入健・諸田千幸・田村由加里 ◇進路指導担当：福澤浩明・横内奈保子・丸山寛

◇巡回相談担当：塩入健・高橋香奈子・湯澤武・田村由加里

※地域連携支援室職員以外にも、専門性に特化した教職員が数多く勤務し、様々な相談に対応しています。

地域とつながる ～ 地域につなげる

伊那養護学校がお手伝いできる研修内容や研修形態について下記のようにまとめました。教育機関にとどまらず、医療・福祉・療育・保育・行政等様々な機関と連携していくきっかけを創っていきたく願っています。センター的機能の更なる充実に向け、皆様からのご意見・ご要望を反映させながら上伊那の特別支援教育に関する指導・支援の充実につなげていきたいと思っております。

研修の内容

※「こんな研修内容を望む」というご意見・ご要望もお寄せください。

障がい特性の理解

① 視覚障がい
② 聴覚障がい
③ 言語障がい
④ 肢体不自由
⑤ 知的障がい
⑥ ASD・発達障がい
⑦ 情緒不安(二次障がい)
⑧ 実態把握・検査等（指導・支援へ）

障がい特性に合わせた支援（授業づくり）

① 個別学習（1対1学習）
② 課題別学習（グループ学習）
③ 自立活動
④ 合わせた指導（日常生活の指導）
⑤ 合わせた指導（遊びの指導）
⑥ 合わせた指導（生活単元学習・作業学習）
⑦ 進路学習
⑧ SST
⑨ 教材教具の工夫開発およびICTの活用

障がい者福祉・医療・療育・行政・教育等の流れ

① 障がい者権利条約等の法的な流れ
② 障がい者スポーツ
③ 副学籍制度を活用した交流及び共同学習
④ 教育支援（学びの場の見直し）の流れ
⑤ 進路・就労、福祉サービス
⑥ 多様な学びの場の役割（通級等）

支援体制づくり

① 教育支援計画・指導計画の作成と活用
② 校内委員会・支援会議の持ち方
③ 保護者との連携の取り方
④ 他機関との連携（地域連携）の取り方
⑤ 基礎的環境整備・合理的配慮

研修の形態

講義
講師の話を聞く。 一般的な研修会のスタイル

ディスカッション
課題別グループに分かれ、参加者同士の意見交換・アドバイス

実技・演習
・個別計画の作成 ・教材教具づくり ・発達検査

参観
・授業参観・研究会 ・医療、福祉、事業所等の見学・参加

サテライト化（地域の子どもを地域で支える連携づくり）のサポートをします

中核特別支援教育コーディネーター（中核特Co.）を中心にした北部・中部・南部の支援体制作り